

【共通様式】

令和 5 年度 西淀川区運営方針

(所属長 : 松田 和也)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	「活気があり、笑顔にあふれ、常に進化するまち」 (もっと住みたい、もっと事業したいまちへ)
使命	地域のつながり意識を醸成し、住民同士や事業者間の連携を強化することで、子育てしやすく安全・安心できれいなまちづくりを実現させ、まちに更に活気が出るように区の魅力向上を図る。区民の皆様と課題を共有しさまざまな面で更なる進化を目指し、「住むなら西淀川」と言われるようなまちづくりを進める。
令和5年度 区運営の 基本的な考え方	次の5つを柱とし、住民同士や事業者間のつながりを大切に、地域が主体的に活動できるように支援する。高齢化・人口減少が見込まれるなかで、地域活性化のために区民や事業者等の新たなつながりの創出や更なる連携強化を図り、様々な活動主体と協働してまちの魅力を向上する。

重点的に取り組む経営課題

経営課題1 共創によるまちの魅力向上

		3決算額	一円	4予算額	3百万円	5予算額	5百万円
課題認識	<p>○西淀川区においても、今後、高齢化・人口減少が見込まれており、地域活性化のためにも「住むなら西淀川」と多くの方が思えるように、まちの魅力向上を図る必要がある。</p> <p>○情報の一元化や利便性を向上させ、デジタル化を深めることでより多くの方に情報を届けていく必要がある。</p>						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>○民間企業等との連携協定や共創による取組みを推進し、地域の活性化、魅力創出を図る。</p> <p>○まちの魅力を様々な媒体を活用して内外に発信する。</p> <p>○区公式LINEなどの情報量や質の充実を図り、幅広い世代に効果的な情報発信を行う。</p> <p>○事業者との連携協定や共創によるスマホ教室を実施するなど、デジタルデバイドの解消を図る。</p>						
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	<p>○「まちの魅力向上をめざして以前より区役所の取組みが進んでいる」と感じる区民アンケート回答者の割合：50%</p> <p>OLINE友だち数：令和7年度までに10,000人（5年度：7,000人 6年度：8,500人）</p>						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	「まちの魅力向上をめざして以前より区役所の取組みが進んでいる」と感じる区民アンケート回答者の割合：55.7%	A			未測定		
	LINE友だち数：6,764人（令和6年4月1日時点）	B			5,506人		

経営課題2 こどもたちがいきいきと育つ環境整備							
		3決算額	253百万円	4予算額	290百万円	5予算額	287百万円
課題認識	<p>○増加する外国につながるこどもたちがいきいきと育つ環境を整備することが必要</p> <p>○コロナ禍や核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化などにより、孤独な子育てに陥りがちな世帯に支援が必要</p> <p>○学校や地域、保護者により近い区役所がそのニーズや意向を的確に把握し、学校教育を支援することが必要</p> <p>○虐待相談を含む全ての子育て相談に対して、保護者に寄り添う相談支援の取組が必要</p>						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>○学習言語としての日本語の習得が十分ではない外国につながる児童生徒が小・中学校でよりよい教育を受けるための学校への支援を実施するとともに、小学校へのスムーズな就学や高校進学を志す生徒への支援を行う。</p> <p>○子育て支援事業を実施することで、子育て支援の担い手を増やし、こども食堂等の地域の子育て資源の連携を強め、地域での子育てを支援するとともに、地域の子育てイベント情報を集約したWEBの利便性を向上させ、孤独な子育てに陥りがちな世帯に向け役立つ情報を発信する。</p> <p>○区PTA協議会等の協力により、模試を実施するなど、学校教育を支援する。</p> <p>○児童虐待や子育て相談について、関係機関と密な連携を図りながら、継続的かつきめ細かい支援を行う。</p>						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度合を示した指標)	○「教育環境や子育て環境が以前より良い」と感じる区民アンケート回答者の割合：50%						
アウトカム指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績			
	「教育環境や子育て環境が以前より良い」と感じる区民アンケート回答者の割合：54.2%			A	未測定		
経営課題3 地域コミュニティの活性化							
		3決算額	47百万円	4予算額	52百万円	5予算額	53百万円
課題認識	<p>価値観の多様化やプライバシー意識の高まり、地域への愛着・帰属意識の低下などにより地域における人と人とのつながりが希薄化している。</p> <p>一方で、大きな災害等の非常時の助け合いや、子どもや高齢者の見守りなど、地域の防災・防犯対策には、地域を基盤とした人と人とのつながりの大切さが改めて認識されている。</p> <p>また、地域の諸活動を担う人材の不足が懸念されるため、地域とともに地域の担い手となる人材を確保し、その育成に努めていく必要がある。</p> <p>地域社会が抱える諸課題に対応し区民が安心して豊かな生活を営むことができるよう地域コミュニティの活性化を図ることが必要である。</p>						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>○地域活動協議会の自立運営に向けて、各地域ごとの課題解決に向けたさらなる支援を実施する。</p> <p>○区民まつりやスポーツ大会等を開催し区民同士のコミュニティの活性化を推進する。</p> <p>○地域の担い手となる人材の確保について、地域とともに検討し活動のPRを行うなど、実行できるものから順次取組む。</p> <p>○区内企業等のネットワークを構築し、地域とともに防災などの問題解決に取り組むことで、地域コミュニティの醸成につなげる。</p>						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度合を示した指標)	○地域活動協議会の構成団体が、「地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態にある」と思う割合：90%						
	○「区内の人と人とのつながりが以前より促進されている」と感じる区民アンケート回答者の割合：50%						
	○区内企業等のネットワークに参画する企業数：令和7年末までに100社 (5年度:60社、6年度:80社、7年度:100社)						
アウトカム指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績			
	地域活動協議会の構成団体が、「地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態にある」と思う割合：84.0%			B	84.4%		
	「区内の人と人とのつながりが以前より促進されている」と感じる区民アンケート回答者の割合：46.1%			B	未測定		
区内企業等のネットワークに参画する企業数：61社			A	48社			

経営課題4 安全で快適なまちづくり							
		3決算額	7百万円	4予算額	12百万円	5予算額	9百万円
課題認識	<p>〈災害への備えの強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災に対する意識、備えにおいて、区民によっては理解に差があり、多くの区民、企業等が一定の理解を得ておく必要がある。 ○女性視点からの避難所運営等を行う必要がある。 ○災害時、単独では避難が困難な人に対応する個別避難計画を作成する必要がある。 <p>〈環境美化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区民の美化意識が向上し、きれいで住みたいまちとなる必要がある。 ○西淀川区を公害のまちから「環境にやさしいまち」にイメージを生まれ変わらせる必要がある。 						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>〈災害への備えの強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生対象の防災教育プログラムの拡充、地域・学校・企業等が連携した防災訓練等の実施により、若年層・企業等の防災の関わり強化 ○女性視点を反映した備蓄物資の配備充実や避難所開設運営訓練の実施により、女性視点での防災取り組みの促進 ○地域や福祉医療専門職と連携した個別避難計画作成推進 <p>〈環境美化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ごみのない、きれいなまちづくりをめざすため、ごみ拾いアプリの活用など、多くの方が、気軽に美化に取り組める仕組みづくりを進める。 ○区民の美化意識を醸成するため、区内の様々な所で一斉清掃できる機会をつくる。(公園、歌島橋交差点地下歩道等) 						
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	<p>〈災害への備えの強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災教育プログラム実施支援を令和7年度までに全校で実施する。 (5年度：4校 6年度：5校 7年度：6校) 						
	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域自主防災組織に女性をはじめ多様なメンバーが参加し男女のニーズの違いや多様な視点に配慮した防災活動が行われている」と感じる地域の割合：60% 						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成		前年度実績				
	防災教育プログラム実施支援：4校	A	2校				
	地域自主防災組織アンケートで「女性が多く意見が反映される」旨回答した地域の割合：42%	B	未測定				
	「区内の美化啓発活動などについて以前より取り組みが促進できている」と感じる区民アンケート回答者の割合：69.7%	A	未測定				

経営課題5 誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくり							
		3決算額	6百万円	4予算額	6百万円	5予算額	7百万円
課題認識	<p>○区内の様々な専門的な相談機関が、分野を横断した総合的な相談支援体制の充実が求められる。</p> <p>○区役所職員が、様々な困難を抱えている方々を気にかかけ、気づき、必要な支援につなげるために、職員の福祉力の強化が必要。</p>						
主な戦略 (課題解決の方策)	<p>○地域で日常的・継続的に見守り活動ができる仕組み(見守りネット倶楽部)や、地域との関わりが少ない外国籍の方等へ生活に関する情報提供を行うボランティアを募る仕組み(ウェルカムバンク)、地域のちょっとした困りごとなどを気軽にお手伝いできる人を募る仕組み(ちょこっと♡助っ人ポイント)等をPRすることでそれらの担い手を増やし、より一層広げること等で、身近な所で相談できる仕組みを充実させる。</p> <p>○地域包括支援センター、ランチ、基幹相談支援センター、民生委員・児童委員など異なる分野の関係機関が学習会・連絡会などを通じて情報を共有する。</p> <p>○少人数規模の研修を複数回実施することにより区役所職員の「気づく力」を向上させる。</p>						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度を示した指標)	○「困った時に地域で相談できる相手がいる」と感じる区民アンケート回答者の割合：85%以上						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	「区内でご家族・ご親類以外で相談できる相手がいる」と答えた区民アンケート回答者の割合：73.7%				B	67%	
自己評価 (運営方針全体の定性評価)	<p>様々な活動主体と協働した取組により、災害への備えの強化を行うことができた。また、区公式LINEの活用や動画制作などにより区の情報発信力を強化し、子育てや教育に関する的確な情報発信、まちの魅力の向上に取り組むことができた。</p> <p>一方、経営課題1・3・4・5の一部のアウトカム指標において、十分な啓発やアプローチが出来ていなかったことにより未達成の項目もあることから、事業の進め方について戦略を立て直し中長期の対応策を検討していく必要がある。</p>						
今後の方針	令和6年度の運営方針にもとづき、新たな視点で関係機関や地域や企業・団体と十分に連携しながら経営課題の解決に向けて取組を進めていく。						